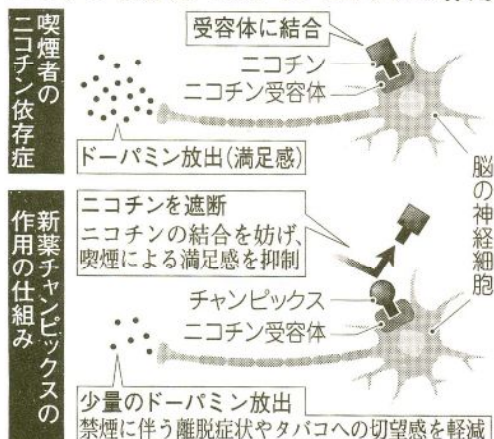


ニコチン依存症へのチャンピックスの作用



ニコチン依存に新薬

脳のニコチン受容体に作用し、ニコチン依存症患者の禁煙を手助けするまったく新しい内服薬が日本で使えるようになった。ファイザー（東京）のチャンピックスで、八日に発売された。日常診療で禁煙できる機会が増えると期待されている。

ガム・パッチより効果

脳に作用 禁煙手助け

この薬は脳の神経細胞にあるニコチン受容体と結合し、たばこ成分のニコチンを遮断する。同時に、満足させる神経伝達物質ドーパミンを少量放出して、たばこが欲しくたまらない切望感や、

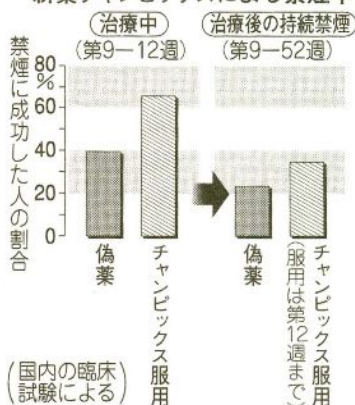
不安、不眠など離脱症状を減らす。既存の禁煙補助剤のガムとパッチがニコチンを補充する方法なのとは仕組みが異なる。

**お星も石森バンノ
タカキベーカーリー**

欧米で二〇〇六年に承認されてから六十カ国以上で販売され、五百万人が使っている。日本でも一月に承認されていた。

日本の試験では、服用中の禁煙率は65%、一年後の持続禁煙率は35%だった。

新薬チャンピックスによる禁煙率



喫煙者のニコチン依存症調査

広島県は74%
全国で7番目

広島県内の喫煙者の74番目に高いことが、医薬品メーカーの調査でわかった。過去に禁煙に失敗

った。禁煙すると離脱症状が起きやすいが、チャンピックスでイライラ感などは減っていた。欧米の比較でニコチンのガムやパッチより持続禁煙率は二倍近かったという。国内の臨床試験では、十二週間毎日、量を段

大分県立健康科学センターの中村正和部長は「ニコチンパッチと並んで、第一選択処方薬となると、欧米と比べて、日本は禁煙治療がまだ少ない。ぜひ治療を受けてほしい」と話している。

中国地方は鳥取県が全第一位(79.5%)、山口県二位(76.0%)、島根県五位(75.5%)、岡山県十位(73.5%)と、依存症の比率が軒並み上位を占めた。全国平均は70.7%だった。

たの大半は、新指針をまとめたのは米国心臓協会。昨年発表された日本の二つの研究を踏まえ、二〇一〇年に

した喫煙者も73.5%と全国五番目に高く、禁煙したくてもなかなかやめられないようだ。調査は四十七都道府県の喫煙者計九千四百人を対象に、医薬品メーカーのファイザー（東京）が四月にインターネットで実施した。「自分に健康問題が起きていると分か

(上杉智仁)